1041

						MD -		事業番			041			
	Allo 4-						ピューシー	-	(国:	土交通				
	業名	交通弱者等の移動可能性に関する調査研究			担当部	局庁	国土交	国土交通政策研究所			作成責任者			
	開始・ 5定)年度	Н	23/H24(予定)		担当	架室		-	- 初		开究調整官 笹山 博			
会計区分		一般会計			施策	施策名 33 社会資本整備・管理等を効果的に推進する								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-				する計画、 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律								
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		交通は人々の移動に不可欠であり、様々な活動の基礎となっている。しかし、バスや鉄道等の利用者数は減少が続き、少子高齢化・人口減少社会を迎え、ますます公共交通の確保は厳しい状況となると考えられ、自家用車を利用できない人々にとって移動が困難となる状況が考えられる。このため、今後の地域交通政策の検討に資するよう、客観的なデータに基づ〈移動可能性に関する指標(移動のしやすさ指標)の作成とこれを活用した分析手法の作成等を行う。												
(5行	養概要 f程度以 削添可)	通アクセスのし	かすさについて、	移動可能性に関	する指標を作成	すると	居住地(出発地)から ともに、この指標を注 での暮らしの視点にこ	5用して地域交通	や地域づ	くりに関す	る分析方			
実施方法		直接実施業		—————— 务委託等	補助			その他						
				20年度	21年度		22年度	23年	度	24	年度要才	ऐ		
		」 当社	切予算	-	-		-	23	~		18			
	算額・ 気行額 な:百万円)	→ ├──	E予算	-	-		-	0						
		が操起	返し等	-	-	-		0						
		況計		-	-		-	23			18			
		執行額		_				+		-				
		執行率(%)		_								_		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	7 20年度	21年度	22年	F EF	目標化			
		70未担保			#####		20千皮	21千皮	224	一反	(25年)	度)		
					成果実績	件	-	-	-	•	1			
					達成度	%	-	-	-					
活動指標及び 活動実績 (アウトブット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年	F度	23年度活動	协見込		
		調査検討の報告数			活動実績 (当初見込 み)	件	-	-	- (.	-)(0)		
単位当た り コスト			国土交通省の所掌事務に係る政策に関する基礎的な調査及び研究で 算出根拠 あり、単位あたりコストの概念が当てはまらないため。											
		1 目	目 23年度当初予算 24年度要求				主	な増減理由						
平	諸謝金		0	0										
成 2	職員旅費		1	1	1									
3	委員等旅費		0	0	-									
2	社会資本整備・管理効		21	16	1									
年	率化推	化推進調査費			-									
度予					+									
算 内 訳					-									
訳	±1		23	18	 四捨五入のため合わない場合がある									
	計		23	10	四古五八のにの百わない場合かめる									

	事業所管部局による点検										
	評価	項目	特記事項								
目的		広〈国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。									
状・況予		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。									
の		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。									
資金の流れ、費目・ 活動実績、1		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。									
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。									
		受益者との負担関係は妥当であるか。									
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。									
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。									
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
成果		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか									
実績		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
	外注での	D実施を予定している作業のうち、一部を研究所で内製化して実施するな	ど効率的な予算の執行に努める。								
点検結果											
		予算監視・効率化チームの所見									
	/	17年重成・双平10ノームの別え									
	/ BI	限られた予算の中で最大限の研究成果が得られるよう、 事業全体の行程管	管理を徹底し、適切な執行に努めるべき。								
/	′ [
	į	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)								
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)											